

(3) ハザードマップの更新について

昨年の防災会議で報告したとおり、令和3年度にハザードマップの更新が完了し、全戸配布することで市民周知を行った。

【実施事業（完了）】

委託事業名：ハザードマップ更新業務委託
委託期間：令和3年3月29日から
令和3年6月30日まで（年度繰り越し）
委託業者：サンメッセ株式会社 愛岐営業所
契約金額：3,020,600円
作成部数：35,000部
全戸配布：令和3年6月15日（広報と併せて配布）

【更新内容】

①新郷瀬川・郷瀬川ハザードマップ(L2)

計画規模^{※1}の新郷瀬川・郷瀬川のハザードマップは平成30年度に作成・配布済。今回の更新では、計画規模よりも雨量の多い想定最大規模^{※2}のハザードマップを作成した。これは令和2年4月10日に愛知県から「木曾川水系 郷瀬川流域浸水予想図（想定最大規模）」が公表されたことを受け、犬山市にも影響のある内容の為、市民周知を目的として作成。

※1 計画規模（L1）…概ね50年に1度の頻度で降ると言われている降雨量

※2 想定最大規模（L2）…概ね1000年に1度の頻度で降ると言われている降雨量

②半ノ木川・五条川・薬師川・合瀬川の想定最大規模(L2)の雨量によるハザードマップ

令和2年5月29日に愛知県から「庄内川水系 新川流域浸水予想図（想定最大規模）」が公表されたことを受け、犬山市にも影響のある内容の為、市民周知を目的として作成した。

③入鹿池ハザードマップ

入鹿池が満水状態で決壊した場合（約1,500万^mの水の流出）の浸水被害想定図を作成。周辺河川が決壊していないことを前提とした想定図となる。これは、令和2年5月13日に愛知県が公表した「入鹿池 浸水想定区域図」をもとに作成。

※入鹿池は耐震診断により、南海トラフ地震の耐震性を有しており、また、200年確立雨量に対応した洪水放流設備も備えている